本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

10気圧防水 ● 1/100秒ストップウオッチ・タイマー・アラームつき

ウオータースポーツ

106

使用説明書

●電池交換について

最初の電池は工場出荷時に組み込まれているモニター用電池ですので、約５年に満たないうちに寿命がきれることがあります。

電池が消耗しますと「内部照明のライトが点灯しなくなったり」「急に遅れが目立ったり」「表示が消えたり」「見にくくなります」このような症状があらわれたら電池交換を行なってください。

新しい電池とお取りかえいただきますとその後、約５年の間ご使用になれます。

電池交換は、精度や寿命、気密性の維持上必ずお求めのお店かお近くのカシオデジタルウオッチ取扱い店あるいは当社営業所・出張所・サービスセンターにお申しつけいただき当社指定のカシオデジタルウオッチ専用電池と交換してください。

カシオデジタルウオッチ専用電池以外の電池をご使用しますと時計の正常な働きをさまたげ、故障の原因ともなりますのでご注意ください。

●液晶パネルの交換について

この時計には高品質のＦＥ型液晶パネルを使用しておりますが、液晶はその性質上約７年すぎますと、コントラストが低下したり、読みにくくなることがあります。その場合はお買いあげ店、またはカシオデジタルウオッチ取扱い店へ交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

●保証について

この時計の修理や調整のアフターサービスには、特殊な技術や治工具を必要としますので、万一修理や調整の必要が生じた場合には必ずお買いあげの店あるいは当社営業所・出張所にお申しつけください。この時計はお買いあげ後、１ヵ年以内に通常のご使用によって生じた自然故障や調整の必要が生じた場合は保証規定（保証書を参照）に基づき無償修理いたします。

無償保証期間中の有償修理（保証書裏面に記載）および無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。

●この時計の性能部品の保有年数は７年を基準としています。ご使用条件にもよりますが修理可能期間はほぼこれに準じます。
（修理のとき一部代替部品を使わせていただくこともありますのでご了承ください）

●その他、ご不明の点「転居」「贈答」などの場合がありましたらお近くの当社営業所へお問い合わせください。

●製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

常温携帯精度：平均月差±15秒以内

表示方式：ＦＥ型液晶デジタル表示

基本機能：時・分・秒・午前/午後・月・日・曜日、オートカレンダー（２月28日制）

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99（60分計）
計測機能＝通常計測・積算計測・ラップ計測・１、２着同時計測
経過時間報知機能＝経過時間が10分単位になるごとに電子ブザーが１回鳴ります。

タイマー機能：計測単位＝秒　セット単位＝分　電子ブザー＝30秒間
計測範囲＝11時間59分　計測機能＝通常計測・積算計測
残り時間報知機能＝残り時間が10分単位になるごとに電子ブザーが１回鳴ります。

アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝30秒間
時報アラーム　毎正時に2回、毎30分に1回電子ブザーが鳴ります。
モニターアラーム

セット機構：時刻・カレンダーセット機構　秒合わせ機構（±30秒クリア）
タイマーセット機構　アラームセット機構

その他：12時間制/24時間制表示切替機能

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI

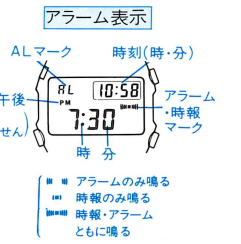
使用電池：BR-2320（電池別途販売）

電池寿命：約5年（1日当り、ライト1秒間点灯、電子ブザー100秒使用した場合）

アラーム機能の使い方

Ⓒボタンを押して、アラーム表示にします。
確認 ⇨ ALマークの点灯

※副表示部は時刻（時・分）を表示します。



アラーム機能には以下の2つがあり、両方同時に使えます。

- 時刻アラーム……任意の時刻をセットできるアラームです。
- 時報アラーム……毎正時(00分のとき)に2回（ピッピッ）、毎30分に1回(ピッ）電子ブザーが鳴ります。

●時刻アラーム

時刻アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると30秒間電子ブザーが鳴ります。

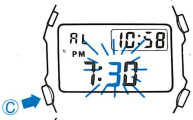
★セットのしかた

(1)アラーム表示のとき、Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。



(2)Ⓒボタンを押すごとに、点滅個所が以下の順で移動します。

時 → 10分台 → 1分台



(3)「時刻・カレンダーの合わせ方」と同様、点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセット個所を選び、Ⓐボタンでセットを行ないます。

※Ⓐボタンを押すごとに、表示の数字が進みます。



(4)セットが終わったら、点滅がどの個所でもⒷボタンを押すと点滅が止まり、アラームマークが点灯して、セット完了です。



セット上のご注意

- 「時」のセットのとき、午前・午後の指定にご注意ください。
- 時刻・カレンダー表示が24時間制表示のときはセット時刻表示も24時間制表示になります。

<24時間制表示>



★アラームの解除

アラーム表示のとき、Ⓛボタンはアラームの ON/OFF ボタンになります。Ⓛボタンを押すごとにアラームマーク 🔔 がついたり、消えたりします。アラームを鳴らさないときは、アラームマークを消します。



●時報アラーム

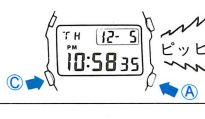
アラーム表示のとき、Ⓐボタンは時報の ON/OFF ボタンになります。 Ⓐボタンを押すごとに時報マーク 📢 がついたり、消えたりします。時報を鳴らさないときは、時報マークを消します。

時報ONのとき、毎正時(00分のとき）に2回（ピッピッ)、毎30分に1回(ピッ)電子ブザーが鳴ります。



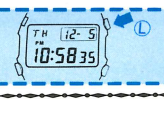
モニターアラーム(いつでもブザーが鳴ります。)

どの表示のときでも、Ⓐボタンと Ⓒボタンを同時に押すと、押している間、電子ブザーが鳴ります。



鳴っている電子ブザーを途中で止めるには

減算タイマー、時刻アラームとも30秒間電子ブザーが鳴ります。途中で止めたいときは、どの表示のときでもⓁボタンを押します。



●ご使用上の注意

カシオデジタルウオッチをいつまでも高精度でご愛用いただくため、下記の点を特にご留意ください。

(1) 極端に高い温度や、極端に低い温度条件下ではご使用にならないでください。機能が低下したり電池寿命を短くしたりする恐れがあります。

(2) 通常の使用状態でのショックには耐えるよう設計されていますが、落としたり強い衝撃を与えますと故障の原因となりますので十分ご注意ください。

(3) この腕時計は、C/MOS-LSIや水晶振動子、それに液晶パネルなどの精密パーツで構成され組立てられていますので、時計の内部には絶対手をふれないでください。

(4) このカシオデジタルウオッチを腕から外したり、長期にわたってお使いにならないときは……

(a) 寒冷所や夏場の直射日光が当る場所には放置しないでください。

(b) 水蒸気がたったり、たちこめるような湿気が極端に多い場所で長時間放置しないでください。

(c) 消耗した電池を入れたままにしておきますと、故障の原因になります。長時間お使いにならないときは電池を抜くか、約5年ごとに電池を入れかえながら保存してください。なお、電池の出し入れは絶対にご自分でなさらないでください。

(5) ボタン操作は確実に行なってください。

(6) このカシオデジタルウオッチに使用しているバンドも汗やホコリでよごれます。汗をかいたときは、吸湿性の良い布などで水分を取り除いてください。また、ときどきは柔らかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。

(7) 定期的なパッキン交換を！

外部からの水分やチリ・ホコリの浸入を防ぐため防水パッキンを使用しています。ゴム製品のため長い間使用していますと性能が劣化しますので、定期的な交換(2~3年を目安に)を行なうようお願いします。

●10気圧防水時計のご使用上の注意

(1) 水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビングなどにお使いいただけますが、専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。(海水に浸したときは、真水で洗い塩分や汚れをよくふきとってください。)

(2) 水中でのボタン操作はできます。(Ⓑボタンを除く)

(3) この時計は、電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買いあげの店あるいは当社営業所・出張所にお申しつけください。(特殊な治具を必要とします。)

(4) 側ケースをシンナー・ガソリン等の有機溶剤類で洗浄することはお避けください。油等の付着は、中性洗剤液でおふきください。

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございます。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

時計のお取扱いにあたりましては、万一、誤ったボタン操作を行ないましても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

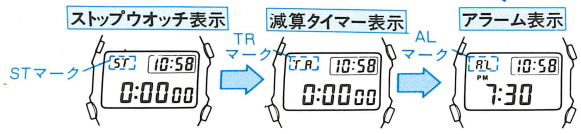
この時計は、時刻・カレンダー機能のほかに1/100秒ストップウオッチ、減算タイマー、アラームの各機能を備えています。

Ⓒボタンを押すごとに、⇨の順で表示が切り替わります。

Ⓒボタンを押して、各表示をご確認ください。

時刻・カレンダー表示





時刻・カレンダー表示の見方、使い方

時刻・カレンダー表示では、時・分・秒・午前／午後・月・日・曜日が一括表示されています。

Ⓛボタンを押している間、ライトがつきます。

※カレンダーはオートカレンダーですので、うるう年以外は修正不要です。

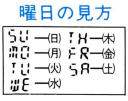
★12 ↔ 24時間制切替

Ⓐボタンを押すごとに、12時間制表示と24時間制表示（24Hマーク点灯）とが入れ替わります。

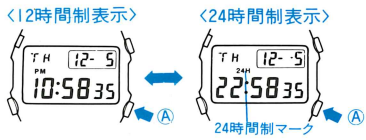
時刻・カレンダー表示



曜日の見方



〈12時間制表示〉　〈24時間制表示〉



秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらい、この「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

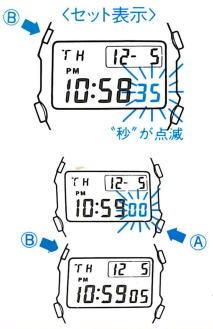
(1)時刻・カレンダー表示のとき、Ⓑボタンを押し「セット表示」にします。

(2)時報に合わせて、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは　1分くりあがって00秒からスタートします。

(3)Ⓑボタンを押し、「時刻・カレンダー表示」に戻します。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は以下の方法でセットしてください。

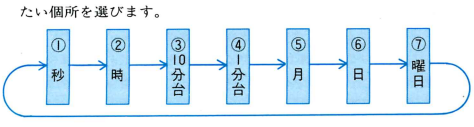
(1)時刻・カレンダー表示のとき、Ⓑボタンを押して「セット表示」にします。

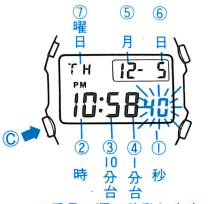
確認 ⇨ "秒"が点滅していますか？

(2)Ⓒボタンを押します。

確認 ⇨ 点滅する個所が移動しましたか？

※セット表示のとき、Ⓒボタンを押すごとに、点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。



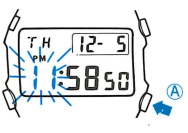


(3)(セットしたい個所が点滅しているとき)Ⓐボタンを押します。

確認 ⇨ 点滅している表示が1つ進みましたか？

※セット表示のとき、Ⓐボタンを押すごとに、表示が1つずつ進みます。

㊟「秒」のときは表示が00になります。 ⇨「秒の合わせ方」参照。



Ⓒボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐボタンで表示をセットし、時刻、カレンダーを合わせてください。

注1）「時」のセットのとき、午前/午後、24時間制にご注意ください。

注2）24時間制のときも、同じ方法でセットできます。

(4)セットが終わったら、（どの個所が点滅していても）Ⓑボタンを押します。時刻・カレンダー表示に戻りセット完了です。

確認 ⇨ 点滅が止まりましたか？

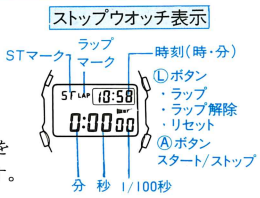
〈時刻・カレンダー表示〉



■セット例、「時」と「曜日」をセットする。

① Ⓑボタンを押し、セット表示にする。
② Ⓒボタンを押し、「時」を点滅させる。
③ Ⓐボタンを押し、「時」をセットする。
④ Ⓒボタンを押し、「曜日」を点滅させる。
⑤ Ⓐボタンを押し、「曜日」をセットする。
⑥ Ⓑボタンを押し、セット完了。（時刻・カレンダー表示に戻ります。）

ストップウオッチの使い方



Ⓒボタンでストップウオッチ表示にします。

確認 ⇨ STマークの点灯

ストップウオッチは1/100秒の計測単位で59分59秒99まで計測でき、以後0に戻って繰り返し計測されます。

※副表示部は時刻（時・分）を表示します。

●計測のしかた スタート/ストップボタン(Ⓐボタン)を押すごとに〝ピッ〟という操作確認音が鳴ります。

★通常の計測

〈スタート〉 Ⓐボタンを押す……計測開始（コロンが点滅し始めます）

〈ストップ〉 Ⓐボタンを押す……計測停止（コロンの点滅が止まります）

〈リセット〉 Ⓛボタンを押す……表示が0に戻ります。

※ロスタイムがある場合（積算計測のしかた）

ストップ後、リセットせずに再スタート（Ⓐボタンを押す）すれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

★ラップタイム（途中経過時間）の計測

〈スタート〉 Ⓐボタンを押す……計測開始（コロンが点滅し始めます）

〈ラップ計測〉 Ⓛボタンを押す……ラップタイムが表示されます。(LAPが点灯します)

〈ラップ解除〉 Ⓛボタンを押す……ラップが解除されます。(LAPは消えます)

〈ストップ〉 Ⓐボタンを押す……最終タイムが表示されます。(コロンの点滅が止まります)

〈リセット〉 Ⓛボタンを押す……表示が0に戻ります。

★1着・2着のタイム計測

〈スタート〉 Ⓐボタンを押す……計測開始（コロンが点滅し始めます）

〈1着がゴール〉 Ⓛボタンを押す……1着のタイムが表示されます。(LAPが点灯します)

〈2着がゴール〉 Ⓐボタンを押す……表示はそのままです。(コロンの点滅が止まります)

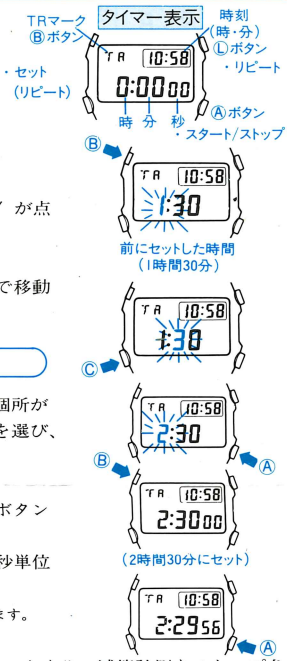
〈2着のタイムは〉 Ⓛボタンを押す……2着のタイムが表示されます。(LAPは消えます)

〈リセット〉 Ⓛボタンを押す……表示が0に戻ります。

●経過時間報知機能

ストップウオッチ表示で計測中は、経過時間が10分単位（10分、20分、30分……）になるごとに電子ブザーが〝ピッ〟と鳴ります。

減算タイマーの使い方



Ⓒボタンを押してタイマー表示にします。

確認 ⇨ TRマークの点灯

減算タイマーは分単位で最大11時間59分までセットでき、セット時間が経過すると30秒間電子ブザーが鳴ります。

※副表示部は時刻（時・分）を表示します。

●セットのしかた

(1)タイマー表示のとき、Ⓑボタンを押すと〝時〟が点滅します。

※表示は前にセットした時間（リピート表示）になります。

(2)Ⓒボタンを押すごとに、点滅個所が以下の順で移動します。

時 → 10分台 → 1分台

(3)「時刻・カレンダーの合わせ方」と同様、点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセット個所を選び、Ⓐボタンでセットを行ないます。

※Ⓐボタンを押すごとに表示の数字が進みます。

(4)セットが終わったら、点滅がどの個所でもⒷボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

(5)Ⓐボタンを押すと減算を開始し、残り時間を秒単位で表示します。

※Ⓐボタンを押すごとに「ピッ」という操作確認音が鳴ります。

●ロスタイムがある場合

減算計測中、Ⓐボタンはスタート/ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。サッカーなどロスタイムのある試合時間の計測に便利です。

●同じ時間を計測する場合（リピート計測）

同じ時間を何回も計測するとき、計測の途中で最初からやり直すときなどは、Ⓑボタンを2度押すと前にセットした時間を表示します。この操作で、何回でも同一の減算計測が可能です。

※減算計測停止時に、Ⓛボタンを押しても同様です。

●残り時間報知機能

減算タイマー表示で計測中は、残り時間が10分単位（……30分、20分、10分）になるごとに電子ブザーが〝ピッ〟と鳴ります。

ストップウオッチ計測中、または減算タイマー計測中にⒸボタンを押して、時刻・カレンダー表示など他の表示にしても計測には一切影響ありません。但し、ラップ計測時（LAPが点灯）にこの操作をしますと、ラップは解除（LAPが消える）されます。